



口頭発表 3/16(Sat) 10:45-12:00 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	<b>E</b> Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Animal community	Biodiversity	Conservation	植物生理生態	景観	外来種	生態系管理	進化
10:45	A01-06 Sika deer and wild boar alter their diurnal and seasonal activity pattern in residential area. Nasratullah ELHAM (Hiroshima University)	B01-06 When islands are organisms: bird's nest ferns ( <i>Asplenium nidus</i> ) as a novel system for studying microbial community assembly Yu-pei TSENG (National Taiwan University)	C01-06 日本の飼育環境によるジャイアントパンダの腸内マイクロバイオームの変化 王 雪瑩 (北海道大学)	D01-06 都市緑地における樹木3種の微量元素吸収能力 永井 祥生 (東京都立大学)	E01-06 ソーシャルセンシングによる桜開花フェノロジー 堤田 成政 (埼玉大学)	F01-06 ため池におけるコイの駆除が水生昆虫群集に与える影響 渡邊 黎也 (兵庫県立大学大学院)	G01-06 感染症対策、水産資源管理、野生動物管理、総合的害虫管理における個体群管理の比較 松田 裕之 (横浜国立大学)	H01-06 2つのパッチを移住する1宿主-2共生者系の動態：非同調による多様性維持 嶋田 正和 (産総研・深津ERATO)
11:00	A01-07 房総半島における草食動物3種の密度の劇的な変化：状態空間RESTモデルによる推定 神田 有香音 (日本大学生物資源)	B01-07 Boosting biodiversity monitoring using smartphone-driven, rapidly accumulating community-sourced data 渥美 圭佑 (株式会社バイオーム)	C01-07 Tracing temporal spread of non-native freshwater shrimp for invasion risk prediction by machine learning 大貫 溪介 (京大院理)	D01-07 鉱さいたい積場のヨシの重金属耐性と重金属蓄積に關する内生糸状菌の化学的機能 大熊 美結 (筑波大学)	E01-07 "mimics without models"の数理的検証 冨塚 暖史 (東京都立大学)	F01-07 四国における外来鳥類種サンジャクの広域分布予測と在来種への影響評価 松田 洋仁 (高知大学)	数理 G01-07 抗ウイルス薬投与停止後の感染症リバウンド 林 玲奈 (九州大学)	H01-07 Mutualism dissolution by pathogen invasion 入谷 亮介 (理研・iTHEMS)
11:15	A01-08 亜熱帯湿地林における着生植物上のアリの群集構造 中辻 宏平 (東京農工大学)	B01-08 Insect community assembly across vertical forest strata: using artificial tree holl as a model 井坂 友一 (西双版纳熱帯植物園)	C01-08 Improving large-scale evaluation model of ecosystem services in tropical production forests using satellite and drone aerial images 小松 孝太郎 (京都大学・森林生態)	D01-08 鉱山跡地に自生するミゾソバの重金属耐性機構及び内生細菌の機能の解明 谷内 美月 (筑波大学・生命環境)	E01-08 ゲノムワイドSNP解析によるトゲザンゴ隠蔽種間の雑種検出と地点間遺伝分化の評価 中島 祐一 (国立環境研究所)	F01-08 小笠原における外来陸生ヒモムシの生態系影響 岸本 年郎 (ふじのくに環境史ミ)	G01-08 エキノкокスの感染動態シミュレーションにおける群集構造、行動学と宿主操作の相關 森 健介 (京大生態研センター)	H01-08 Exploration of sex chromosome, and karyotype analysis in the Japanese dry-wood termite, <i>Neotermes sugioi</i> 村上 貴弘 (九州大学)
11:30	A01-09 温帯アリ群集における機能形質の垂直位置による違い 井上 哉太 (東京農工大学)	B01-09 Low accuracy in group-level coefficient estimates in separate fittings of GLMMs 片渊 正紀 (XTBG, CAS)	C01-09 マラウイ湖国立公園のミオンボ林における薪資源としての枯れ木生産量の推定 林 珠乃 (龍谷大学)	D01-09 鉱山跡地の移植実験において根の内生菌がススキの生長および重金属耐性に及ぼす影響 盧 星燕 (筑波大学・生命環境)	E01-09 湧水選好動物の遺伝構造における水系への依存性：移動能力の異なる3種での比較 平野 佑奈 (国立環境研究所)	F01-09 東京の都市近郊緑地のタヌキは都心のタヌキの活動時間とどの様な違いが見られるのか 藤田 翔伍 (東京農工大学)	G01-09 宿主に対する産卵と捕食のタイミングの分化がもたらす捕食寄生者2種の共存 一色 竜一郎 (京都大学)	H01-09 繁殖縄張り行動発現の収斂進化における多様な内分泌遺伝基盤 山崎 遥 (九州大学)
11:45	A01-10 An equation-free Bayesian method for the inference of state-dependent ecological interactions with time series data 行平 大樹 (東北大学)		C01-10 From space to water surface: the potential of remote sensing methods for coral reef monitoring Nurrahman ANDRIANTO (AMBL, Kyushu University)	D01-10 鉱山集積場において、内生菌が関与したススキのストレス耐性機構の解明 松代 雄太 (筑波大学・生命環境)	E01-10 Using Bioacoustic Monitoring for Spatial Tracking of Silver Croaker ( <i>Pennahia argentata</i> ) during courtship 太田 圭祐 (東北大学)	F01-10 哺乳類による都市緑地と近郊林の利用に関する研究 山本 紘輝 (京都大学)	G01-10 寄主植物特異性は植食性昆虫の高い多様性を説明できるか？ 難波 利幸 (大阪公立大学)	H01-10 夜間人工光に対するショウジョウバエのエピ遺伝的応答と都市適応 竹中 夏海 (千葉大・院・融)



口頭発表 3/16(Sat) 16:30-17:45 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C (公募セッション)	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	
<b>Time</b>	H Ge	i o o e e i o	Animal-plant interaction	生態学と人間の文化	植物生理生態	動物群集	行動	数理	保全
16:30	A02-05 Effects of surface land use and meteorological conditions on the bioaerosol phase at the air-land interface Rohit BANGAY (Kanazawa University)	B02-05 Discovery of a novel mutualism between <i>Macrostemon</i> and <i>Nipponorhynchus</i> 山口 万里花 (東京都立大学)	C02-05 生態学と社会コミュニケーション—文学、アート、教育とのかかわり 多田 満 (国立環境研究所)	D02-05 様々な針葉樹葉の分光放射吸収特性の違いが温暖化応答に及ぼす可能性 久米 篤 (九州大学)	E02-05 自然生態系におけるCritical Transirionを伴うレジームシフトの実証 深澤 陸 (東北大学)	F02-05 捕食リスクの有無によりユビナガホンヤドカリの殻闘争行動に違いが生じる？ 古賀 庸憲 (和歌山大学)	G02-05 微生物コミュニティ発展における熱力学的洞察: 安定性とエネルギー利用 瀬戸 繭美 (奈良女子大学)	H02-05 人為騒音下におけるコロロギのメスの生息地選択 中岡 佳祐 (北大院・環境科学)	
16:45	A02-06 Relationships of above-ground biomass with climate and species composition across Japanese natural forests: which types of forests stock more carbon? 梶野 浩史 (東北大学)	B02-06 The aggregation of herbivorous insects as a response to chemical landscapes formed through plant community structure 大崎 晴菜 (東京都立大学,学振PD)	C02-06 Ecological anthropological study on the impact of water pollution on the mangrove forests and local communities in the coastal areas of Mumbai, India 関間 花梨 (京都大学大学院)	D02-06 NO <sub>3</sub> :NH <sub>4</sub> バランスが野外藻類群集の光生理に与える影響 風間 健宏 (神戸大学)	E02-06 多雪地域における中型食肉目の種間関係の季節変化：人工餌場を用いた行動による評価 高崎 日向子 (山形大学)	F02-06 捕食者の色覚を模倣したCNNによるチョウ類擬態形質の定量化 網野 海 (東京大学)	G02-06 リターの分解速度が平衡状態におよぼす影響はリターの流出入パターンに依存する 山内 淳 (京都大学)	H02-06 ガムシ( <i>Hydrophilus acuminatus</i> )は水生昆虫のホットスポットの指標種か？ 山中 基成 (筑波大学)	
17:00	A02-07 石灰岩土壌は貧栄養なのか、富栄養なのか：樹木の栄養塩利用と根圏効果の観点から 芝 里万杜 (京大・農・森林生態)	B02-07 Does remnant forest in urban landscape shape the evolution of white clover? 石黒 智基 (北海道大学環境科学院)	C02-07 Beyond bees: a cross-country investigation into public perceptions of insect-mediated crop-pollination services 伊達 政里 (東京大学)	D02-07 カエデ属における冬季の日長受容様式の多様性 大野 美涼 (岩手大学)	E02-07 九州の落葉広葉樹林における有剣ハチ群集の季節変動 上森 教慈 (九州大学)	F02-07 社会性ハダニにおける捕食者卵を転がす行動～行動の詳細からその目的を探る 田原 真夢 (筑波大学)	G02-07 交互作用項を持つ一般化線形モデル (GLM) の係数の意味：間隔尺度の説明変数 粕谷 英一 (大阪公立大学)	H02-07 愛媛県のため池における絶滅危惧種マツカサガイ個体群の生息 畑 啓生 (愛媛大学院理工)	
17:15	A02-08 Development of vegetation structural complexity in an enrichment oil palm plantation (Sumatra, Indonesia) 菊地 達郎 (ゲッティンゲン大学)	B02-08 Synergistic effects of predation and parasitism on competition between edible and inedible phytoplankton 笠田 実 (東北大学)	C02-08 How should primate bushmeat hunting be managed?: A case study in Southeastern Cameroonain rainforest region 赤岡 佑治 (京都大学 (ASAFAS))	D02-08 伐採方法の異なる76年生落葉広葉樹林における伐採後2年間の萌芽枝の発消長 三木 直子 (岡山大学)	E02-08 近年枯死したナラ枯れ木に対する大型土壤動物の応答 村上 悠士 (近畿大・農)	F02-08 ジャイアントミルワームでの長時間の闘争は敗者の適応度を減少させる 松浦 輝尚 (岡山大学)	G02-08 生態学と科学哲学：法則性に関する論考 島谷 健一郎 (統計数理研究所)	H02-08 長期的な生息地変化と生物多様性トレンドの統合：日本の沿岸性水鳥の事例 清水 孟彦 (北海道大学)	
17:30	A02-09 ササ掻き起こし施業による有機物分解特性の50年間の変化：天然更新と単一種植栽の比較 竹内 理絵 (横浜国立大学)	B02-09 寄生植物アメリカネンシカズラは一年生草本の共存を促進するか 篠原 直登 (京都大学)	C02-09 Policy diffusion in global biodiversity conservation: Learning, competition, coercion, and emulation amidst US-China great-power politics Hubert CHEUNG (Sapienza University of Rome, The University of Tokyo, Northern Arizona University)		E02-09 海浜性甲虫群集の形成機構～五島列島における海浜間の類似度の決定要因～ 上野 弘人 (九大院・地社)	F02-09 流水面におけるハマスズの遊泳行動 久我 立 (広島市森林公園昆虫館)		H02-09 夜間に移動する渡り鳥の地上照明から受ける影響について 長田 幸子 (北海道大学)	



口頭発表 3/17(Sun) 10:30-11:45 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Plant ecophysiology	Evolution	生物多様性	植物個体群	動物生活史	動物と植物の相互関係	物質循環	保全
10:30	A03-06 季節と栽培方法が与える 温州ミカンの外中果皮に おけるフラボノイド含有 量への影響 濱田 桜子 (国際基督教大 学)	B03-06 Genomic landscape underlying transcriptome and epigenome adaptation in marine and freshwater sticklebacks Liang LIU (東京大学)	C03-06 都市近郊林における人工 ギャップ形成後10年間 の植物多様性変化 島田 和則 (森林総研多摩 科学園)	D03-06 ホタルブクロの花色多型 を規定する要因 張 瑞琪 (新潟大・佐渡自 共セ) 群落	E03-06 コイ科の追星を食べる: マラウイシクリッド <i>Docimodus evelynae</i> で見つかった新奇的な習性 竹内 勇一 (北海道大学)	F03-06 花を集めれば遠くまで目 立つ?:花密度に伴うハ チの検出限界の変化 六澤 颯太 (筑波大学大学 院)	G03-06 山地小流域における微地 形に応じた土壌メタンフ ラックスの変動 渡辺 陽樹 (京都大学)	H03-06 魚類の毒性影響を評価す る手法としての環境 RNAの可能性 日置 恭史郎 (国立環境研 究所)
10:45	A03-07 Dynamic changes in photosynthesis, fluorescence, and spectral reflectance of three poplar species under varying light intensity 張 景淇 (東北大学)	B03-07 Genetic basis of interspecific variation in salinity tolerance of Sulawesi medaka fishes Ilham Vemandra UTAMA (TBRC, Univ. Ryukyus,MZB, PRBE, BRIN)	C03-07 放牧による植物群集の変 化を介した地表徘徊節足 動物群集への影響の乾燥 度依存性 西村 一晟 (横浜国立大 学)	D03-07 空間先取り説とは何か? タケの生活史を理解する 山田 俊弘 (広島大学)	E03-07 寄生性甲殻類フサフクロ ムシのキブリス幼生の雌 雄における比較トランス クリプトーム 梶本 麻未 (奈良女子大 学)	F03-07 植物揮発性物質と先住効 果は多種ヤナギ上に集ま る節足動物の初期群集集 合に影響する。 米谷 衣代 (近畿大学)	G03-07 ヒノキ林における土壌面 蒸発量の変動および蒸発 散量への寄与 神谷 有咲 (京都大学)	H03-07 安定同位体比分析と個体 の移動から判明した奄美 大島のイエネコの動態 伊澤 あさひ (東京大学)
11:00	A03-08 Seasonal variations in plant-perceived critical wavelength ratios: plant ecophysiological perspective Amila Nuwan SIRIWARDANA (Kyushu University)	B03-08 The effects of climate change on the life history evolution of a long-lived, mycorrhizal orchid Eric Stephan HOLTON (University of Tokyo)	C03-08 琉球列島の林床棲ハエト リゴモ類の種相比較と地 理的遺伝構造 荒木 葵 (東京都立大学)	D03-08 林冠画像と毎木調査、年 輪から探るブナ林の ギャップ動態 坂詰 七美 (山形大学)	動物繁殖 E03-08 東北沖イラコアナゴに寄 生するホラアナゴノエの 性転換について 森本 紗世 (北海道大学)	F03-08 ゴーヤの花の真菌群集組 成：雄花と雌花の比較 中村 祥子 (森林総研)	G03-08 北海道東部の河畔林にお ける下層植生刈払いが土 壌に与える影響 佐々木 章晴 (北海道大 学)	H03-08 多面的な個体群行列解析 による化学物質に対して 脆弱な生活史過程の解明 都築 洋一 (国立環境研究 所)
11:15	A03-09 What is the most suitable deep learning- based software for analyzing fine root dynamics? 山形 拓人 (兵庫県立大学)	B03-09 Andromonoecy as a convergent resolution to intra-locus sexual conflict in bisexual flowers Kai-hsiu CHEN (University of	C03-09 東北地方のツキノワグマ 及びイノシシからの南方 系マダニ類の確認 小峰 浩隆 (山形大学)	D03-09 気候変動下で北海道の天 然林はどう変わる? 動的 植生モデルによる予測 佐藤 永 (海洋研究開発機 構, 東京大学大学院)	E03-09 ダンゴイカ類における成 熟サイズの季節変化と精 子競争の関係 戸田 達也 (東京大学)		G03-09 針葉樹人工林の階層にお ける節足動物食物網の栄 養構造：安定同位体比分 析 齋藤 敦 (東京農工大学)	H03-09 靴から考える海洋マイク ロプラスチックごみ問題 真辺 爽風 (国際基督教大 学)
11:30		B03-10 Maximizing food acquisition in socially parasitic rove beetles through aggregating around termite queens 中園 大博 (京都大学)	C03-10 発育環境がキロシヨウ ジョウバエの翅干渉色パ ターンに与える影響 高橋 一男 (神奈川大学)		E03-10 サバクトビバッタはどう やって互いの卵を傷つけ ずに集団産卵するのか? 前野 浩太郎 (国際農研)		G03-10 「みどりの食料システム 戦略」は肥料資源的に可 能か? 三島 慎一郎 ((国開)農研 機構)	H03-10 地球環境問題を形成する 複数スケール・複数課題 の同時解決のための新た な概念モデル 石井 励一郎 (総合地球環 境学研究所)